

超高齢・単身者急増社会のリスクへの備え

ごみ屋敷化を防ぐセルフ・ネグレクト対策

～ごみ屋敷問題の原因療法—環境・福祉部局連携の具体的方策と成果・課題～

- 「セルフ・ネグレクトとごみ屋敷」の関連—困難事例の解決手法と今後の課題
- [横浜市]ごみ屋敷対策とチーム横浜(18区と福祉・資源循環部局)による「北風と太陽」アプローチ
- [足立区]全国初の条例制定と100件超の解決事例—おせっかい行政で「居住者の生活再建」
- [芦屋市]多面的・制度横断的な連携による「トータルサポート」とセルフ・ネグレクト支援への取組み

【講 師 陣】

岸 恵美子 氏／東邦大学看護学部教授
嘉代 佐知子 氏／横浜市健康福祉局地域福祉保健部福祉保健課人材育成担当課長
祖傳 和美 氏／足立区環境部生活環境保全課長
細井 洋海 氏／芦屋市福祉部地域福祉課長(保健師)

日 時・会 場

2017年11月10日(金)
10:00～16:50
剛堂会館・会議室
 (東京都千代田区)

時	講 義 内 容
10:00 ～ 11:30	セルフ・ネグレクト状態にある高齢者への支援 東邦大学看護学部教授 岸 恵美子 氏 1. セルフ・ネグレクト状態にある高齢者の実態 3. 困難事例への具体的な対応 2. セルフ・ネグレクトとゴミ屋敷の関連 4. いわゆる「ゴミ屋敷条例」の成果と今後の課題 【質疑応答】 【岸恵美子氏プロフィール】 日本赤十字看護大学大学院博士後期課程修了。看護学博士。東京都板橋区、北区で十六年間保健師として勤務した後、自治医科大学講師、日本赤十字看護大学准教授、帝京大学大学院医療技術学部看護学科教授を経て、2015年より現職。高齢者虐待、セルフ・ネグレクト、孤立死を主に研究。著書に『レボゴミ屋敷に棲む人々』(2012、幻冬舎新書)、『セルフ・ネグレクトの人への支援、ゴミ屋敷・サービス拒否・孤立事例への対応と予防』(編集代表、2015、中央法規)等。
いわゆる「ごみ屋敷」条例—専管組織と庁内連携による挑戦	
11:40 ～ 13:00	〔横浜市〕いわゆる「ごみ屋敷」対策 ～福祉的アプローチによる挑戦～ 横浜市健康福祉局地域福祉保健部 福祉保健課人材育成担当課長 嘉代 佐知子 氏 1. 横浜市の「ごみ屋敷」対策の基本的な考え方 2. 条例の概要 3. チーム横浜(推進体制)について ～18区役所と健康福祉局・資源循環局が一体となった取組み推進～ 4. 困難事例へのアプローチ(北風と太陽) 相互の連携と役割分担 ～法令等により指導を実施する「北風チーム」と寄り添った医療・福祉的支援を行う「太陽チーム」～ 【質疑応答】
14:00 ～ 15:20	〔足立区〕居住者支援に重点を置いたごみ屋敷対策とその手法 ～条例制定と100件を越える解決事例より～ 足立区環境部生活環境保全課長 祖傳 和美 氏 1. 職員提案による全国初の条例制定 ～ごみ屋敷はごみを撤去しても解決しない!?～ 2. 専管組織と庁内連携のあり方 (1)情報収集と情報共有 (2)進行管理と役割分担 3. 「居住者の生活再建」とは ～ごみ屋敷は人間が抱える問題の縮図～ 【質疑応答】
地域支え合いとセルフ・ネグレクト支援	
15:30 ～ 16:50	〔芦屋市〕多面的・制度横断的な地域支え合いの仕組みづくり ～庁内連携の推進と権利擁護支援の取組み～ 芦屋市福祉部地域福祉課長 細井 洋海 氏 1. 市の概要 2. 庁内連携の取組み 3. 「Maybe-sheet【虐待(疑い)相談シート】」の活用 4. 虐待対応の仕組み(トータルサポート系の役割) 5. 権利擁護支援センターの役割 6. 共助の地域づくりに向けて 【質疑応答】



いわゆるごみ屋敷対策 条例の制定と運用 ― 独居・高齢、孤立化、認知症への自治体対応策

環境対策条例の立法と運用

〔編集(執筆)〕 宇賀 克也／東京大学大学院法学政治学研究科教授
〔執 筆〕 辻山 幸宣／公益財団法人 地方自治総合研究所所長

島田 裕司／足立区生活環境調整担当課長(東京都)
山本 吉毅／荒川区環境課長(東京都)
清永 雅彦／杉並区環境課生活環境担当係長(東京都)

■体 裁：A 4判／234頁
■発 刊：2013年8月2日
■定 価：7,193円(税・送料込)
(本体6,660円)
■研修会参加者特価：6,500円

〔第1章〕自治体における「ごみ屋敷」への対応策とその手法

地方自治総合研究所 辻山 幸宣

我々を覆っている困難な課題／住み続けられる条件と公法／記憶に残る「ごみ屋敷」問題／ごみ屋敷って？
ごみ屋敷と既存の法令／条例による対応の可能性／近隣の自治をつくる／
〔Q & A〕地域自治の新しい形をどうつくるか

〔第2章〕足立区「生活環境の保全に関する条例」

～いわゆる「ごみ屋敷」の事例と条例の制定・運用・特徴～

足立区 島田 裕司

条例制定までの流れ／現状報告／足立区生活環境の保全に関する条例の要点／

生活環境保全審議会の設置と運営／支援内容と区民協力／〔Q & A〕条例の制定と運用をめくって

〔第3章〕環境対策条例の事例報告 ― 条例の制定と運用

第1節 荒川区「良好な生活環境の確保に関する条例」の制定経緯と運用、課題

条例の制定に取り組んだ理由／条例の概要／今後の取り組みと対応事例について

荒川区 山本 吉毅

第2節 杉並区「生活安全及び環境美化に関する条例」の内容とごみ屋敷への対応

条例制定の経緯／条例の内容／「ごみ屋敷」の現状／「ごみ屋敷」への対応／
「ごみ屋敷」の指導の実態／「ごみ屋敷」解消への課題

杉並区 清永 雅彦

〔第4章〕環境対策条例の実効性と運用課題

東京大学 宇賀 克也

問題の背景／廃棄物処理の観点からの条例による規制／安全・安心なまちづくりの観点からの条例による規制／
生活環境保全の観点からの条例による規制／公表／代執行／助成のあり方／今後の課題／〔Q & A〕



新刊(空き家・巻4) 「街」の価値劣化を防ぐ空き家施策―空家法活用の方策箋

空家法施行と自治体空き家対策

〔編集(執筆)〕 北村 喜宣／上智大学法科大学院教授

〔執 筆〕 町田 陵／東京・青梅市生活安全部住宅課
須藤 純／群馬・前橋市総務部秘書課(元・建設部建築住宅課)

西尾 浩／兵庫・明石市職員
(元・都市整備部建築室建築安全課監察係主任)

■体 裁：A 4判／188頁
■発 刊：2017年9月4日
■定 価：5,346円(税・送料込)
(本体4,950円)
■研修会参加者特価：4,900円

〔本書を推薦します〕

出石 稔 関東学院大学副学長・法学部教授

〔第1章〕空家法の法的論点と法施行上の課題・対応 上智大学 北村 喜宣

第1節 空家法施行における法的論点

押し寄せる苦情と自治体現場／使えない法律、使わない担当課／条例による制度化といくつかの論点
空家法(空家等対策推進特別措置法)の概要と特徴／空家法の制度設計の発想と問題点／
始まった自治体の空家法への対応／空家法実施にあたっての論点／空家法実施上の法的な論点

第2節 空家法実施の現状といくつかの法的論点・対応

自治体が先導した空き家施策／空家等対策推進特別措置法の概要と特徴／始まった自治体の対応
空家法を条例に取り込む方法／実施における法的論点<Q & A> 相続財産管理制度、特定空家等の
認定等について

第3節 〔資料〕空家特措法及び法制定後の自治体空き家条例集 (15例)

(空き家・巻1) 老朽危険家屋等の管理手法 ― 条例(議員提案)の制定と政策法務

空き家等の適正管理条例



■体 裁：A 4判／162頁
■発 刊：2012年8月21日
■定 価：5,141円(税・送料込)
(本体4,760円)
■研修会参加者特価：4,700円

〔本書を推薦します〕

廣瀬 和彦 全国市議会議員会法務参事

出石 稔 関東学院大学教務部長・法学部教授

宇賀 克也 東京大学大学院法学政治学研究科教授

〔編著〕北村 喜宣／上智大学法科大学院教授

前田 広子／所沢市危機管理課防犯対策室長(埼玉県)

吉原 治幸／足立区建築室建築安全課長(東京都)

塚本 竜太郎／柏市議会議員(千葉県)

進藤 久／大仙市総合防災課長(秋田県)

〔第2章〕実践報告―空家法施行と自治体の空き家対策

第1節 〔東京・青梅市〕青梅市の空き家実態調査

青梅市 町田 陵

青梅市の現状／空き家実態調査の目的と手法／二次調査／実態調査から見てきた課題／
青梅市の空き家対策とその推進／<Q & A> 空き家実態調査の方法

第2節 〔群馬・前橋市〕前橋市の空き家対策

前橋市 須藤 純

前橋市の現状と空き家の実態／前橋市の空き家対策／特定空家等対策の推進の実際／
前橋市空家等対策計画／空家等対策の基本的施策／空き家実態調査の実施

第3節 〔兵庫・明石市〕空家特措法に基づく行政代執行(略式代執行)による空き家の除却

明石市の現状と空き家条例の制定／明石市の行政代執行(略式代執行)の実施／
今後の課題／<Q & A> 略式代執行の実施実務とその後

明石市 西尾 浩

(空き家・巻3)空家特措法の実施方策―

行政代執行の手法と政策法務



■体 裁：A4／166頁
■発 刊：2015年2月20日
■定 価：5,292円(税・送料込)
(本体4,900円)
■研修会参加者特価：4,800円

老朽危険家屋の
解体・撤去―

〔監修(執筆)〕 北村 喜宣／上智大学法科大学院長

〔コメンテータ・執筆〕 宇賀 克也／東京大学大学院教授

〔執筆〕長谷川高宏／大阪市都市計画局建築指導部監察課長(大阪府)

中山 順博／大田区まちづくり推進部建築調整課長(東京都)

仲村 譲／大仙市総務部総合防災課主査(秋田県)

〔研修会の参加要領〕

■日 時：2017年11月10日(金) 10:00～16:50

■会 場：剛堂会館会議室(案内図は申込後送付)

東京都千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362

■申込方法：下部の申込書に所要事項を記入の上送付下さい
(FAX・郵送・メール等)。

■参加費(1名分)

	1名参加	2名以上参加
行政・議員	25,000円	24,500円
一 般	35,000円	34,000円

※参加費の払い戻しは致しませんので、申込まれた方のご都合が悪い場合は代理の方のご出席をお願い致します。

■支払方法

請求後の振込(銀行振込・郵便振替)
・現金書留・当日払い

みずほ銀行麹町支店 普通1159880

三井住友銀行麹町支店 普通7411658

三菱東京UFJ銀行神田支店 普通5829767

郵便振替:00110-8-81660

口座名: 地域科学研究会

お申し込み・お問い合わせ



あすの街と村を考える

地域科学研究会

東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106

TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

URL: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/>

〔申込書 2017年 月 日〕 希望欄に印を入れて下さい

FAX: 03(3234)4993 MAIL: machi@chiikikagaku-k.co.jp

■研修会の参加 『ごみ屋敷化を防ぐセルフ・ネグレクト対策』 ☐ 当日参加 ※メディア参加の設定はありません

■出版物の購入 ☐ 『環境対策条例の立法と運用』 _____ 冊 ☐ 空き家・巻1 『空き家等の適正管理条例』 _____ 冊

☐ 空き家・巻4 『空家法施行と自治体空き家対策』 _____ 冊 ☐ 空き家・巻3 『行政代執行の手法と政策法務』 _____ 冊

勤務先 _____ 所在地〒 _____ 連絡担当者 _____

TEL _____ FAX _____ E-mail _____

参加者氏名 _____ 所属部課役職名 _____

〈通信欄〉○をつけてください

・支払方法(銀行振込・郵便振替・当日払い・現金書留)

・必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)

請求書等宛名: _____

※ご記入いただいた個人情報は当会の活動(セミナー・出版物等の申込受付、連絡、請求、案内等)のみに使用させていただきます。